

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	昨年、夜間の火災を想定し訓練を行ったが、夜勤対応者が全員で参加することはできなかったため、火災、災害時の対応が把握できていない。また新人職員も把握できていないと思われ、大規模地震がいつ起こってもおかしくないといわれている中で、早急に取り組む必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員、外部応援者すべての職員が火災、災害時対応ができるようにする。 ・同一敷地内、センター全体としても連携を図れるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずはグループホーム内の見取り図での机上訓練を重ねる。職員全員が把握できたら実地訓練をする。 ・大規模地震に備え、常に危険予測を行いながら、環境の整備をする。備蓄品などの置き場所なども周知徹底する。 ・センター内で定期的に防災訓練の機会をつくる 	6 か月
2	37	言葉に出来ない利用者の思いを読み取ることは難しく、新人スタッフもいることから、スキルをみがき スタッフ全員が利用者に寄り添った援助ができるようになる。	利用者が思いや希望を表出し、自己決定できるようにスタッフ全員で援助する。又、自分で表現できない方に対しても、思いや希望を感じ取り寄り添う援助ができるようになる。	利用者の思いに気づける力を養う為、「しあわせ探しノート」を作成し、利用者の思いが表出した行動をノートにかきこむ。書き込んだ事はミーティングで話し合い、スタッフ全員で共有する。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。